

Windows8.1 /10 対応

XP-302M用ログデータ収集セット

XP302ML

取扱説明書

- この取扱説明書は、アプリケーションソフト「Cosmos Data Logger」に対応しています。
ソフトウェアのバージョンは、起動時の画面に表示されます。
- この取扱説明書は、必要ときにすぐに取り出して読めるよう、できる限り身近に大切に保管してください。
- この取扱説明書をよく読んで、理解してから正しくご使用ください。

△注意 データ通信の途中では、USB ケーブルを絶対に抜かないでください。



新コスモス電機株式会社
NEW COSMOS ELECTRIC CO.,LTD.

目次

1. はじめに.....	2
2. 必要なもの.....	2
3. 対応する OS とハードウェア	3
4. COSMOS DATA LOGGER のインストール.....	3
5. USB ドライバのインストール.....	5
6. COSMOS DATA LOGGER の操作.....	6
6.1. COM ポート設定	7
6.2. ログデータ読込.....	8
6.3. ログデータ削除.....	9
6.4. 測定データ一覧.....	10
6.5. 環境設定.....	11
6.6. 検知器機種の選択.....	12
7. 測定データ一覧.....	13
7.1. 検知器機種の選択.....	14
7.2. CSV ファイルへの選択出力.....	14
7.3. 測定データの削除.....	14
8. グラフ表示.....	15
8.1. グラフ表示画面について.....	15
8.2. グラフ出力.....	16
8.3. CSV ファイルへの出力.....	16
8.4. コメントの保存.....	16
8.5. 測定データの削除.....	16
9. データファイル.....	17
10. COSMOS DATA LOGGER のアンインストール.....	19
11. USB ドライバのアンインストール.....	20

1.はじめに

このたびは、XP-302M 用ログデータ収集セット（「XP302ML」と略します）をお買い上げいただき、誠にありがとうございました。XP302ML は、XP-302M と Windows パソコンを接続する USB ケーブルとログデータを受信するソフトウェア「COSMOS DATA LOGGER」のセットです。

正しくお使いいただくために、この取扱説明書を必ずお読みください。

また、「XP-302M」シリーズガス検知器の取扱説明書も、必ず併せてお読みください。

シンボルマークの説明

本ソフトを正しく使用していただくために次のようなシンボルマークを使用しています。

△注意 : 回避しないと物的障害が発生する危険な状況が生じることが予見される内容を示しています。

メモ : 取り扱い上のアドバイスを意味します。

△注意

- (1) 本書の内容については予告なしに変更することがあります。
- (2) 本書の内容については万全を期して作成しておりますが、万一、誤りまたはお気づきの点がございましたらご連絡くださるよう、お願いいたします。
- (3) 本ソフトウェア及び、本書を運用した結果については、前 (2) 項にかかわらず当社は一切の責任を負いかねますので、ご了承ください。
- (4) 本ソフトウェアの使用は、「ソフトウェア使用許諾契約書」をお客様が承諾する必要があります。
- (5) 本ソフトウェア及び本書は、著作権法および国際著作権条約をはじめ、そのほかの無体財産権に関する法律および条約によって保護されています。

Windows8.1、Windows10、Excel、Word は米国 Microsoft Corporation の商標です。

Adobe Acrobat Reader は Adobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社) の商標です。

その他、本書に記載される会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

2.必要なもの

XP-302M とパソコンの接続には下記のものが必要です。

ご使用前にすべて揃っているか、ご確認ください。

*. USB ケーブル	1 本
(シリーズ A コネクタ オス 対 シリーズ A コネクタ オス のストレート結線)	
*. XP302ML インストール CD	1 枚
*. XP302ML 取扱説明書 (本書)	1 冊

メモ 市販の USB ケーブルは数種類ありますが、一般にデジカメ用やプリンター用と呼ばれるものの多くは、コネクタの形状が異なり使用出来ません。極力付属のケーブルを使用するようにしてください。万一付属のケーブルが破損した場合には、「シリーズ A コネクタ オス 対 シリーズ A コネクタ オス のストレート結線」の USB ケーブルが使用できます。

(推奨品 サンワサプライ株式会社 USB ケーブル KB-USB-A3K 3m)

また、USB ハブや延長ケーブル等を使うと通信できないことがあります。接続出来ない場合やエラーの頻発する場合には、付属のケーブルだけを使ってパソコンと XP-302M を直接接続するようにしてください。

3.対応する OS とハードウェア

*. OS

Windows8.1、Windows10

(他のバージョンでの動作は確認されていません。)

*. ハードディスクドライブ

空き容量 60Mbyte 以上

*. CD-ROM ドライブ

CD-R の読み取り可能な CD-ROM ドライブ

(ソフトウェアは CD-R ディスクにて供給されます。)

*. USB ポート

Windows から使用できるように設定された USB ポート

USB1.1 規格以上であること。

注意 Windows は Windows Update を適用し、サービスパック等を最新の状態に更新してからご使用ください。

4.COSMOS DATA LOGGER のインストール

ログデータソフトウェア「COSMOS DATA LOGGER」のインストールを行います。インストールは初めてこのソフトをお使いになる時、一度だけ必要になります。

メモ ここでは標準的な設定の Windows10 でのインストール画面で説明します。他のバージョンの Windows では画面表示が異なることがあります。

注意 インストールの実行前に、他のすべてのプログラムを終了しておいてください。

1. パソコンの CD-ROM ドライブにインストール CD を入れてください。

Windows10 の場合、インストール CD の「SetupWin10_CosmosDataLogger.exe」を実行してください。

Windows8.1 の場合、インストール CD の「SetupWin81_CosmosDataLogger.exe」を実行してください。

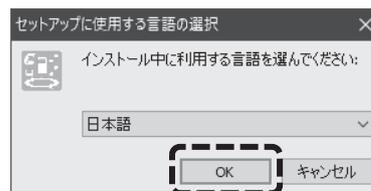
メモ

- ・ 何らかのセキュリティに関する警告が表示された場合は、『実行』または『続行』または『許可』または『はい』を選択し、インストールを続行してください。
- ・ インストール中のファイルコピーに 10 分以上かかる場合には、セットアップを一旦中止し、『ウイルスチェッカー』等の動作を一時的に停止すると改善する場合があります。
- ・ インストールが完了したら、安全のために再び『ウイルスチェッカー』の動作を再開することを忘れないようにしてください。



2. インストール中に使用する言語を選択

し、「OK」をクリックしてください。



3. 「COSMOS DATA LOGGER セットアップウィザードの開始」画面が表示されます。「次へ」ボタンを選択してください。

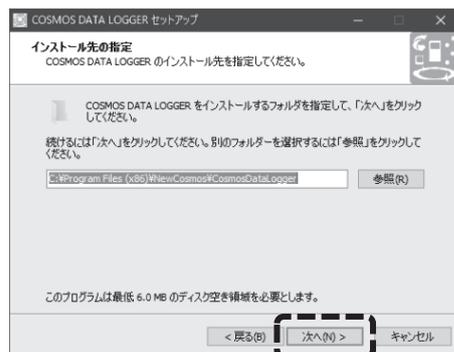


4. 「使用許諾契約書の同意」画面が表示されます。画面をスクロールさせて、すべての内容を良く読んでください。ライセンス契約のすべての条項に同意して頂ける場合にのみ、[同意する] をチェックして、[次へ] をクリックしてください。



注意 インストールまたは初めて使用される前には、必ず「ソフトウェア使用許諾契約書」の全ての内容を良く読んでください。その内容の全てに同意される場合にのみ、ソフトウェアの使用が許諾されます。

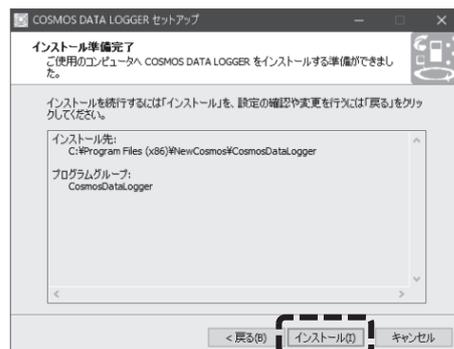
5. 「インストール先の指定」画面が表示されるのでインストールするフォルダを選択します。そのままでは「次へ」をクリックしてください。他のフォルダにインストールする場合は「参照」をクリックしてからフォルダの選択をしてください。インストール先のフォルダが決まったら「次へ」をクリックしてください。



6. 「プログラムグループの指定」画面が表示されるのでプログラムアイコンを作成する場所を選択します。そのままでは「次へ」をクリックしてください。他のディレクトリに作成する場合は「参照」をクリックしてからディレクトリの選択をしてください。作成先のディレクトリが決まったら「次へ」をクリックしてください。



7. 「インストール準備完了」画面が表示されます。内容を確認し、「インストール」をクリックしてください。



8. 正常にインストールが終了した場合には、続いて「NFC Port Software」のインストール開始画面が表示されます。XP-302M との通信には必要ないので「キャンセル」を選択してください。
9. 「COSMOS DATA LOGGER セットアップウィザードの完了」画面に切り替わります。
「完了」ボタンを選択してインストールを終了してください。



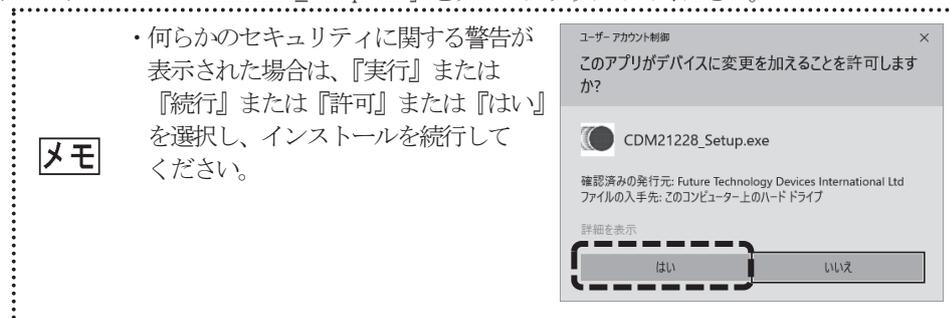
次にUSB ドライバの設定をします。

インストールCDをそのまま抜かず、次の項目を実施してください。

5.USB ドライバのインストール

メモ ここでは標準的な設定のWindows10でのインストール画面で説明します。他のバージョンのWindowsでは画面表示が異なることがあります。

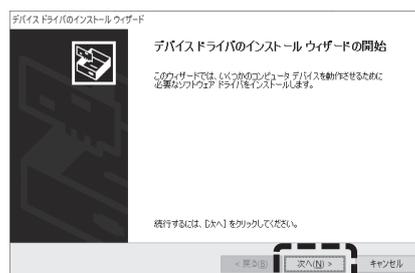
1. インストールCDの「CDM21228_Setup.exe」をダブルクリックしてください。



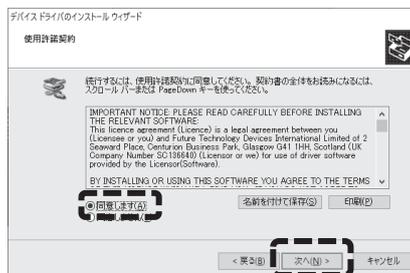
2. インストール開始画面が表示されます。
「Extract」をクリックしてください。



3. 「デバイスドライバのインストールウィザード」が表示されます。
「次へ」をクリックしてください。



- 「使用許諾契約の同意」画面が表示されます。
画面をスクロールさせて、すべての内容を良く読んでください。
ライセンス契約のすべての条項に同意して頂ける場合にのみ、
「同意します」を選択し「次へ」をクリックしてください。



- インストールが正常に完了すると、「デバイスドライバのインストールウィザードの完了」画面が表示されます。
「完了」をクリックしてください。



6. COSMOS DATA LOGGER の操作

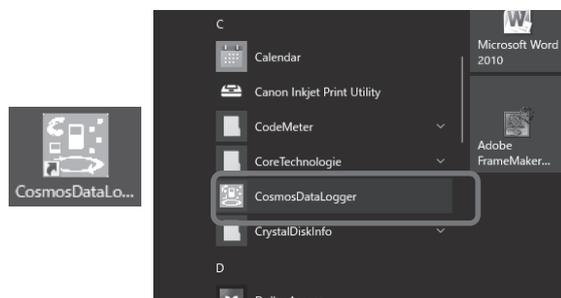
本プログラムの起動前に出来るだけ他のプログラムを終了しておいてください。また、通信エラーが発生する場合には、タスクトレイに常駐するソフトも終了させてみてください。

「XP-302M」とパソコンをUSBケーブルで接続し、XP-302M シリーズの電源が入っていることを確認してください。

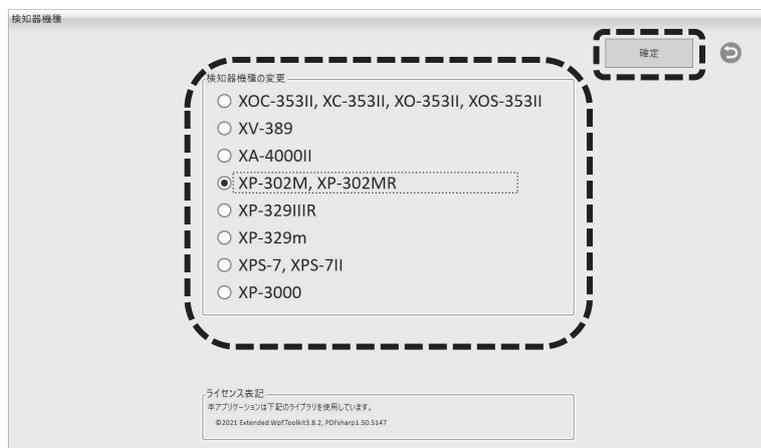


同一通信ポートを使用する他のプログラムとは同時使用不可能です。
絶対に終了しておいてください。

- スタートメニューのプログラムフォルダまたはデスクトップに登録された、「COSMOS DATA LOGGER」のアイコンをクリックまたはダブルクリックして起動してください。

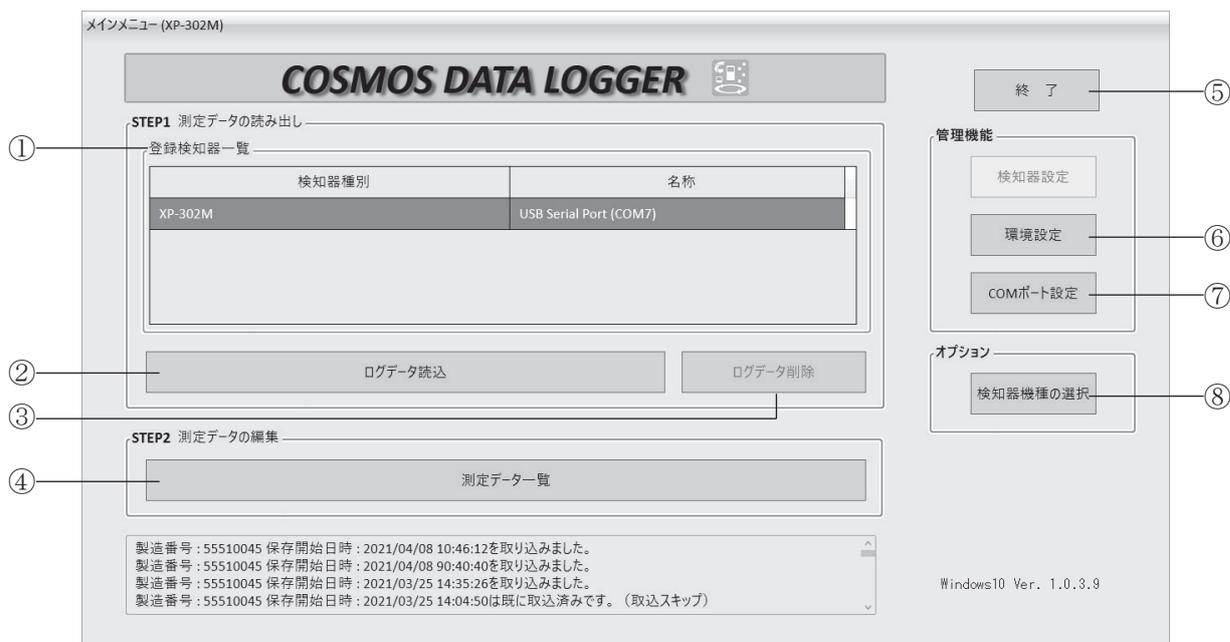


- 検知器機種種の画面が表示されます。「XP-302M」を選択し、「確定」ボタンをクリックしてください。



本アプリを終了する場合、メインメニューの「終了」ボタンをクリックしてください。本アプリは、メインメニューからのみ終了できます。

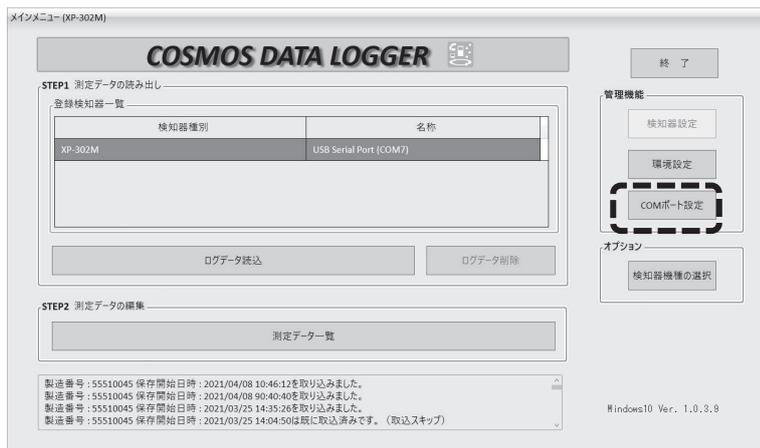
3. メインメニューが表示されます。



No.	名称	はたらき
①	登録検知器一覧	登録している検知器の種別と名称を表示します。 ログデータの読み込みや削除したい検知器を選択します。
②	ログデータ読込	検知器のログデータの中から選択したログデータを読み込みます。(→ 8 ページ)
③	ログデータ削除	検知器のログデータの中から選択したログデータを削除します。(→ 9 ページ)
④	測定データ一覧	読み込んだ測定データの一覧を表示します。(→ 10 ページ)
⑤	終了	COSMOS DATA LOGGER を終了します。
⑥	環境設定	データを読み込んだ際に検知器側のデータの削除方法を設定します。(→ 11 ページ)
⑦	COM ポート設定	検知器を接続する COM ポートを選択します。(→ 7 ページ)
⑧	検知器機種を選択	検知器の機種を変更します。(→ 12 ページ)

6.1.COM ポート設定

1. メインメニューの「COM ポート設定」をクリックしてください。



2. 検知器を接続したCOMポートの登録欄にあるチェックボックスをクリックしてください。

3. 「登録」をクリックしてください。



4. 「設定内容を保存しました。」が表示されたら「OK」をクリックしてください。

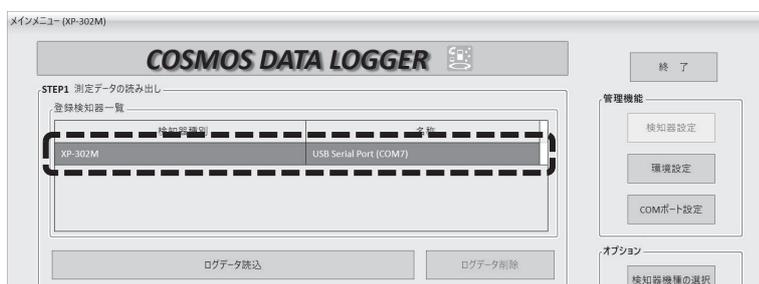


5. 戻るボタンでメインメニューに戻ります。

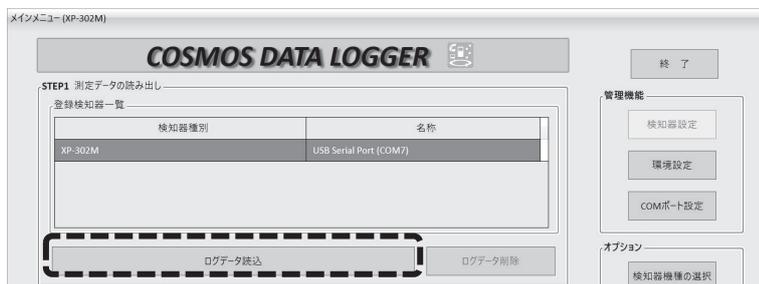


6.2. ログデータ読込

1. ログデータを読み込む検知器を選択してください。



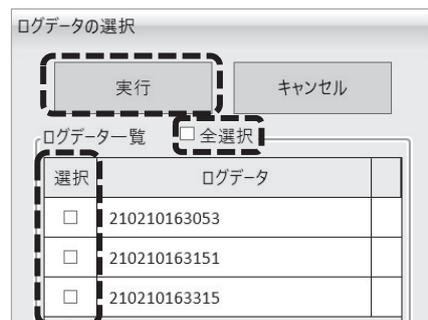
2. 「ログデータ読込」をクリックしてください。



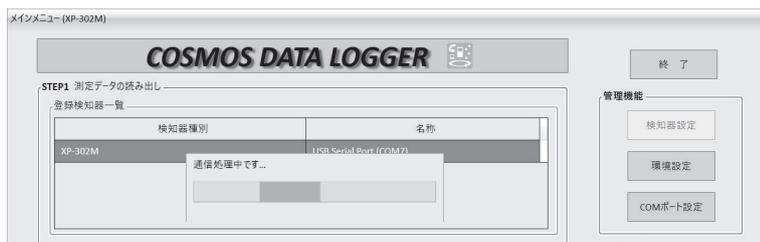
3. 確認のメッセージが表示されたら「OK」を選択してください。



- 読み込むログデータのチェックボックスを選択してください。すべて読み込む場合は、「全選択」を選択してください。選択したら、実行をクリックしてください。



- ログデータが読み込まれます。

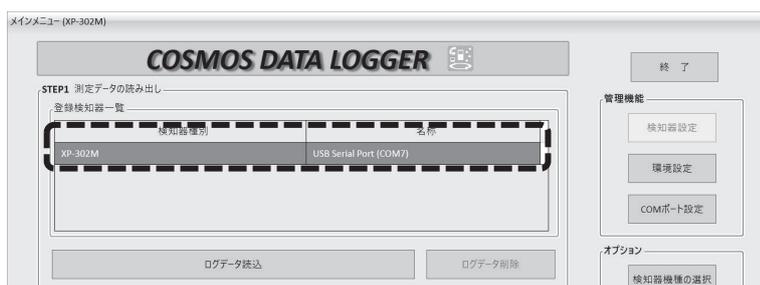


- 読み込み完了後、XP-302M 本体内のログデータを削除するか確認メッセージが表示されます。削除する場合、「OK」を選択してください。読み込み完了毎に都度確認するか、確認せずに自動削除するか「環境設定」にて変更できます。「環境設定」画面については、11 ページを参照してください。

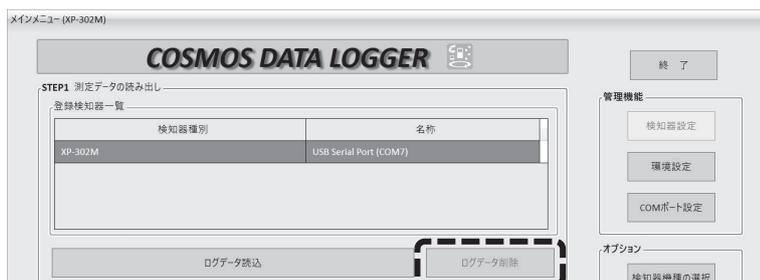


6.3. ログデータ削除

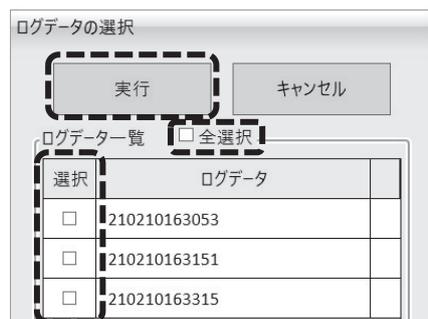
- ログデータを削除する検知器を選択してください。



- 「ログデータ削除」をクリックしてください。



- 削除するログデータのチェックボックスを選択してください。すべて削除する場合は、「全選択」を選択してください。選択したら、実行をクリックしてください。



1度削除されたデータは元に戻す事はできません。

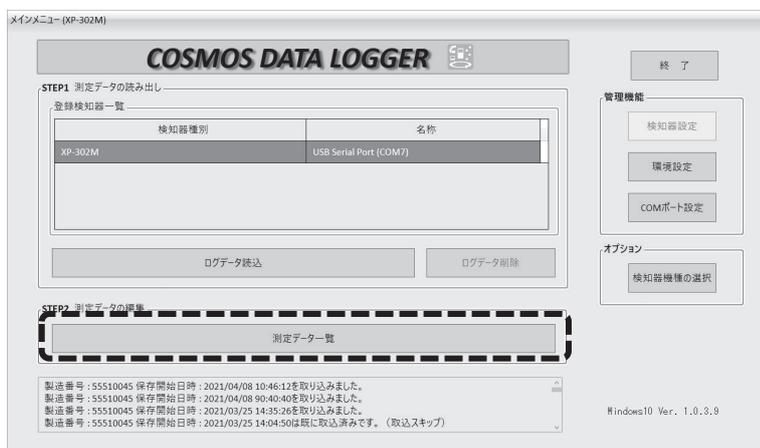
削除して良いかどうか確かでない場合は後述のCSV出力機能で保存してから削除する事をお勧めします。

メモ

本アプリからログデータをすべて削除した場合、不要なデータが残る場合があります。完全に削除するには、本体操作で全削除してください。

6.4.測定データ一覧

- メインメニューの「測定データ一覧」をクリックしてください。



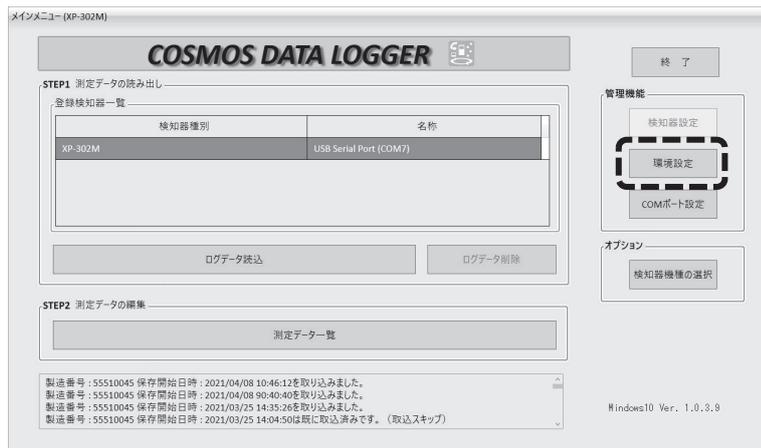
- 測定データ一覧画面が表示されます。

測定データ一覧画面の詳細は13ページを参照してください。



6.5.環境設定

1. メインメニューの「環境設定」をクリックしてください。



2. 環境設定画面が表示されます。

検知器からデータを読み込んだ際、検知器本体の測定データを自動削除するか、都度確認するかを選択してください。

3. 「設定保存」をクリックしてください。



4. 「設定内容を保存しました。」が表示されたら「OK」をクリックしてください。

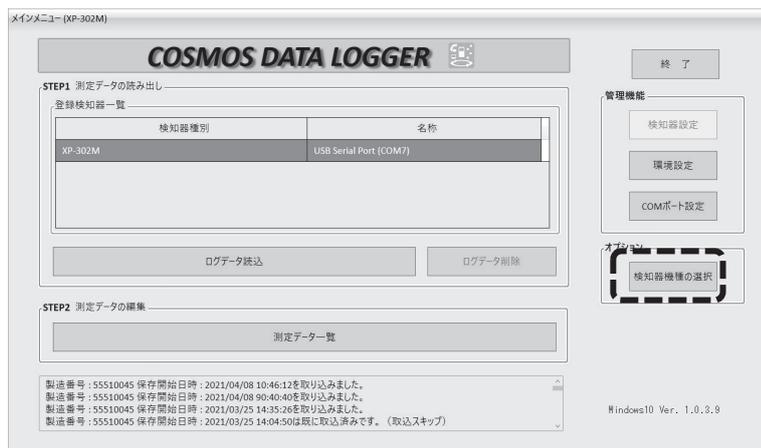


5. 戻るボタンでメインメニューに戻ります。

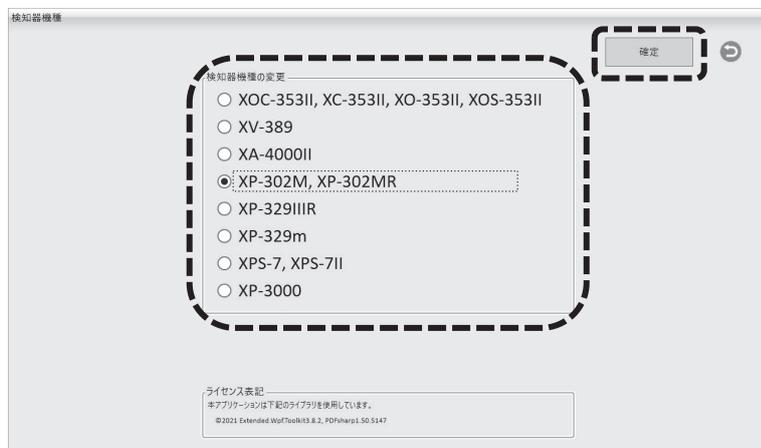


6.6.検知器機種を選択

1. メインメニューの「検知器機種を選択」をクリックしてください。



2. 変更する機種を選択してください。
3. 「確定」ボタンをクリックしてください。機種が変更されメインメニューに戻ります。



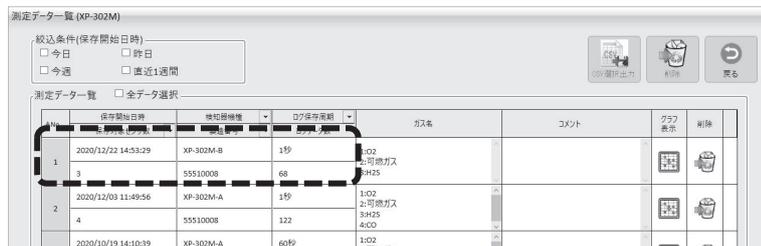
7.測定データ一覧



No.	名称	はたらき
①	絞込条件 (保存開始日時)	測定日時から条件を指定し、対象データを絞り込んで表示します。 「今日」と「昨日」など複数選択することができます。
②	測定データ一覧	検知器から読み出した測定データの一覧を表示します。
	全データ選択	読み込んだすべてのデータを選択します。
	No.	日時の順に取り込んだデータを表示します。 クリックすると降順 (昇順) で並びかえることができます。
	保存開始日時	保存を開始した日時を表示します。
	保存対象 センサ数	保存対象とするセンサの数を表示します。 「▼」をクリックしてプルダウンメニューからセンサ数を選択すると、対象となる測定データが表示されます。
	検知器機種	検知器の機種を表示します。 「▼」をクリックしてプルダウンメニューから機種を選択すると、対象となる測定データが表示されます。
	製造番号	検知器の製造番号を表示します。 「▼」をクリックしてプルダウンメニューから製造番号を選択すると、対象となる測定データが表示されます。
	ログ保存周期	ログの保存周期を表示します。 「▼」をクリックしてプルダウンメニューから保存周期を選択すると、対象となる測定データが表示されます。
	ログデータ数	保存されているログデータ数を表示します。
	ガス名	測定したガス名を表示します。
	コメント	グラフ表示画面のコメント欄の内容が表示されます。
	グラフ表示	アイコンをクリックするとグラフ表示画面に移行します。(→ 14 ページ)
	削除	アイコンをクリックすると測定データを削除します。(→ 14 ページ)
③	CSV 選択出力	選択された測定データを CSV ファイルに出力します。(→ 14 ページ)
④	削除	選択された測定データを削除します。(→ 14 ページ)
⑤	戻る	メインメニューに戻ります。

7.1.測定データの選択

選択したい測定データの下記破線枠部分をクリックしてください。
選択を解除する場合は、再度クリックしてください。



7.2.CSV ファイルへの選択出力

1. CSV ファイルへ出力する測定データを選択してください。
2. 「CSV 選択出力」をクリックしてください。
3. 保存先を指定して「OK」をクリックしてください。



7.3.測定データの削除

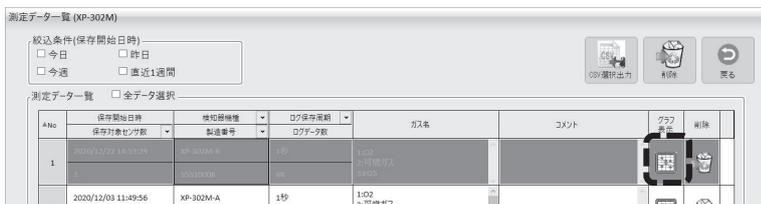
1. 削除する測定データを選択してください。
2. 「削除」または削除欄のアイコンをクリックしてください。
3. 確認のメッセージが表示されたら「OK」をクリックしてください。



⚠注意 削除した測定データは元に戻せません。
削除する前に十分確認してください。

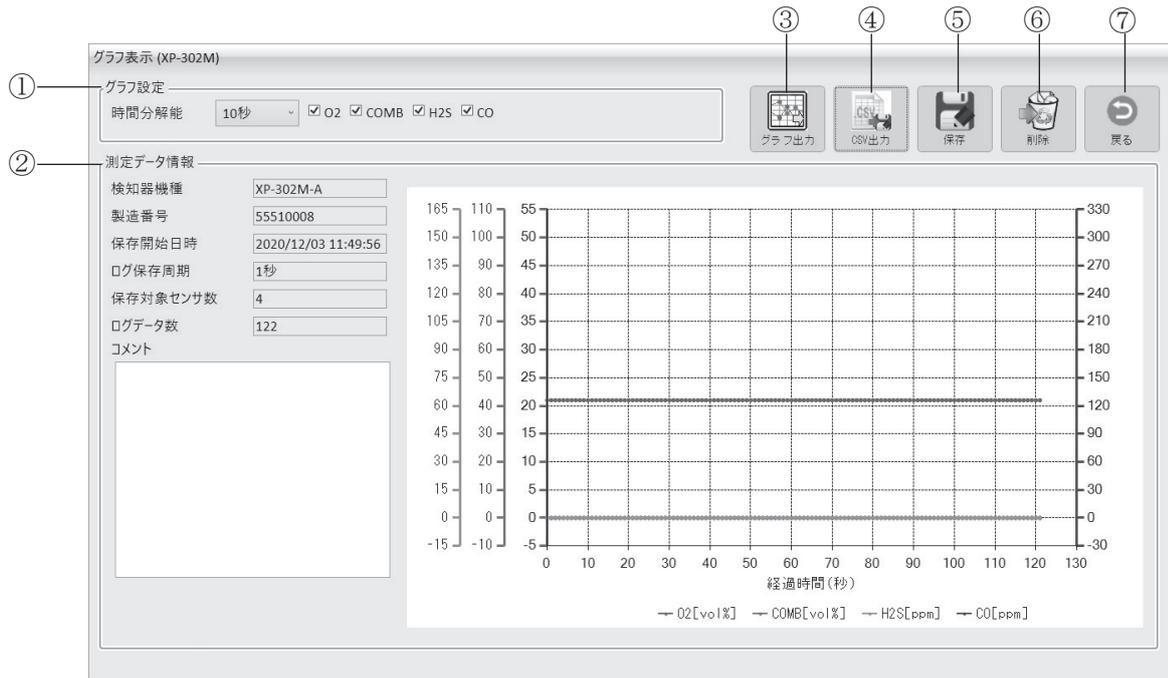
8.グラフ表示

1. グラフ表示する測定データを選択してください。
2. グラフ表示欄のアイコンをクリックしてください。



3. グラフ表示画面が表示されます。

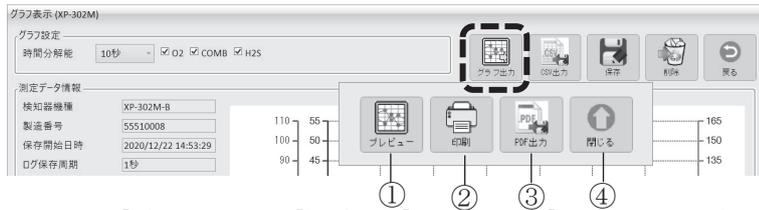
8.1.グラフ表示画面について



No.	名称	はたらき
①	グラフ設定	表示するグラフの条件を設定します。
	時間分解能	グラフに表示する時間単位をプルダウンメニューから選択します。
	O2、COMB、H2S、CO	グラフに表示するガスを選択します。 チェックマークを付けたガスがグラフに表示されます。
②	測定データ情報	検知器から読み出した測定データの情報を表示します。
	検知器機種	検知器の機種を表示します。
	製造番号	検知器の製造番号を表示します。
	保存開始日時	保存を開始した日時を表示します。
	ログ保存周期	ログの保存周期を表示します。
	保存対象センサ数	保存対象となるセンサ数を表示します。
	ログデータ数	保存されているログデータ数を表示します。
	コメント	コメントを入力することができます。 入力内容は測定データ一覧画面のコメント欄にも表示されます。
③	グラフ出力	表示中のグラフ画面を印刷、PDF 出力します。(→ 16 ページ)
④	CSV 出力	グラフ表示中の測定データを CSV ファイルに出力します。(→ 16 ページ)
⑤	保存	入力したコメントを保存します。(→ 16 ページ)
⑥	削除	グラフ表示中の測定データを削除します。(→ 16 ページ)
⑦	戻る	測定データ一覧画面に戻ります。

8.2.グラフ出力

1. 「グラフ出力」 をクリックしてください。
2. 「プレビュー」、「印刷」、「PDF 出力」、「閉じる」が表示され、選択可能になります。

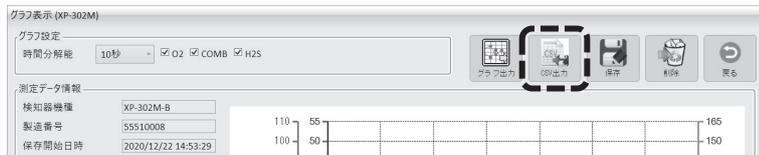


メモ 「プレビュー」、「印刷」、「PDF 出力」、「閉じる」が表示されている状態では、「CSV 出力」、「保存」、「削除」、「戻る」は操作できません。④の「閉じる」を選択すると操作できるようになります。

No.	名称	はたらき
①	プレビュー	印刷プレビューが表示されます。
②	印刷	表示中のグラフ画面を印刷します。印刷ダイアログが表示され、印刷するプリンター設定や用紙設定などを行い、印刷を実行できます。
③	PDF 出力	表示中のグラフ画面を PDF に出力します。PDF ファイルの名称、保存場所を指定し、PDF 出力実行できます。
④	閉じる	「グラフ出力」関連のボタンが非表示になります。

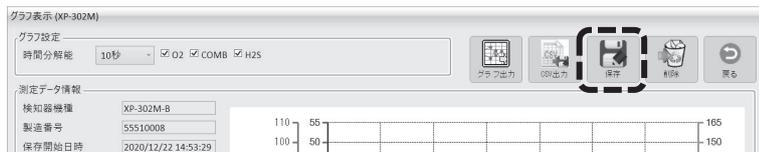
8.3.CSV ファイルへの出力

1. 「CSV 出力」 をクリックしてください。
2. 保存先を指定して「OK」をクリックしてください。



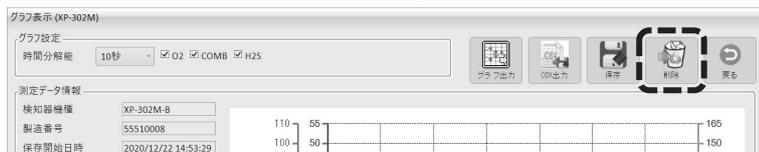
8.4.コメントの保存

1. 「保存」 をクリックしてください。
2. 確認のメッセージが表示されたら「OK」をクリックしてください。



8.5.測定データの削除

1. 「削除」 をクリックしてください。
2. 確認のメッセージが表示されたら「OK」をクリックしてください。



注意 削除した測定データは元に戻せません。
削除する前に十分確認してください。

9.データファイル

ファイル名はログ記録開始日時から「検知器機種_製造番号_計測生データ_4桁年2桁月2桁日2桁時2桁分2桁秒.拡張子」が自動的に付けられます。

例えばXP-302M-Aで2020年11月20日9時22分10秒にログ開始したデータの場合、ファイル名は「XP-302M-A_43405962_計測生データ_20201120092210.csv」になります。

注意 極めて希な例ですが、複数のXP-302Mシリーズ本体にて全く同じ時刻にログ開始した場合には、ファイル名の重複を避ける為「年月日時分秒-1.CSV」のようにファイル名に「-01」「-02」「-03」等の連番が付加されます。また、同じデータを複数回受信した場合にも、ファイル名に連番が付加されます。その場合はデータファイルの中身を見て、XP-302Mシリーズ本体のシリアル番号をお確かめください。

受信されたデータは表計算ソフトで一般的に用いられる「CSV（カンマで区切られた値）ファイル形式」で、記録フォルダに書き込まれています。CSVはテキストファイルであるため、表計算ソフト以外にもワープロやテキストエディターで開いて見たり、印刷したりすることができます。

Excelがインストールされていると、拡張子CSVのファイルが関連付けされているので、データファイルのダブルクリックで開くことができます。Excelから受信データファイルを開くと次の例のようになります。

メモ お使いの表計算ソフトによっては、開いた直後の状態では表示の枠が狭いため、「#####」といった表示になることがあります。お使いのソフトの説明書等を見て、表示幅を広げてみてください。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T
1	コメント																			
2	XP-302MR	55510008																		
3	SU-302M	50SA0008																		
4	Start Date	2020/12/3																		
5	Start Time	11:49:56																		
6	Interval[sec]	1																		
7	End Data No.	122																		
8																				
9	Item	O2	CO2	CO	TEMP	AL1(O2)	AL1(可燃)	AL1(H2S)	AL1(CO)	TWA(H2S)	STEL(H2S)	TWA(CO)	STEL(CO)	AL2(O2)	AL2(可燃)	AL2(H2S)	AL2(CO)	BL		
10	Unit	%	%LEL	ppm	ppm	deg	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
11	FullScale	50	100	150	300	100	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
12	1 2020/12/3 11:49	21	0	0	0	22.3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
13	2 2020/12/3 11:49	21	0	0	0	22.3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
14	3 2020/12/3 11:49	21	0	0	0	22.3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
15	4 2020/12/3 11:49	21	0	0	0	22.3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
16	5 2020/12/3 11:50	21	0	0	0	22.3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
17	6 2020/12/3 11:50	21	0	0	0	22.3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
18	7 2020/12/3 11:50	21	0	0	0	22.4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
19	8 2020/12/3 11:50	21	0	0	0	22.3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
20	9 2020/12/3 11:50	21	0	0	0	22.4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
21	10 2020/12/3 11:50	21	0	0	0	22.4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
22	11 2020/12/3 11:50	21	0	0	0	22.4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
23	12 2020/12/3 11:50	21	0	0	0	22.3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
24	13 2020/12/3 11:50	21	0	0	0	22.4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
25	14 2020/12/3 11:50	21	0	0	0	22.4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
26	15 2020/12/3 11:50	21	0	0	0	22.4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
27	16 2020/12/3 11:50	21	0	0	0	22.4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
28	17 2020/12/3 11:50	21	0	0	0	22.4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
29	18 2020/12/3 11:50	21	0	0	0	22.4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
30	19 2020/12/3 11:50	21	0	0	0	22.4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
31	20 2020/12/3 11:50	21	0	0	0	22.4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

ファイル内の各行の説明については、以下の表をご参照ください。

行数	説明
1行目	本体のシリアル番号
4・5行目	ログデータ記録開始日時
6行目	記録間隔
7行目	データの総組数
9行目	12行目以降のデータに対応する項目名
10行目	12行目以降のデータの単位
11行目	12行目以降のデータのフルスケール
12行目以降	連番号、日時、酸素濃度(O ₂)、可燃性ガス濃度、硫化水素濃度(H ₂ S)、一酸化炭素濃度(CO)、温度に続き、各ガス、警報種ごとの警報状態と電池残量レベル ※警報状態 1：警報あり、0：警報なし AL1：1段目警報、AL2：2段目警報 ※電池残量レベル 4：  3：  2：  1： 

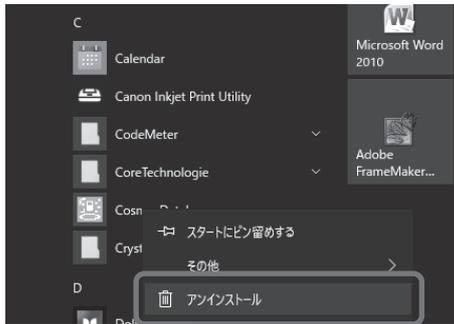
日時は、Excel のデフォルトの画面上では秒が表示されませんが、データファイルには書き込まれています。 Excel で「セルの書式設定」を変更すれば秒まで表示できるようになります。

10. COSMOS DATA LOGGER のアンインストール

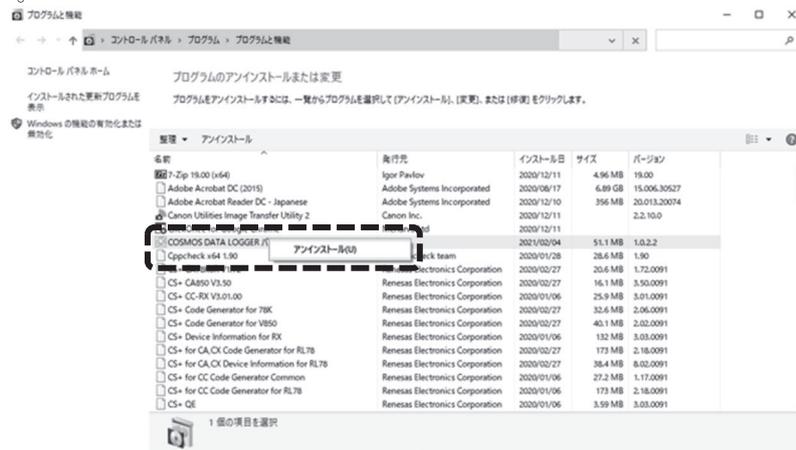
メモ

ここでは標準的な設定の Windows10 の画面表示について説明します。
他のバージョンの Windows では表示が異なる場合があります。

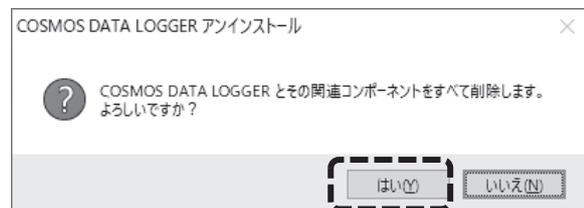
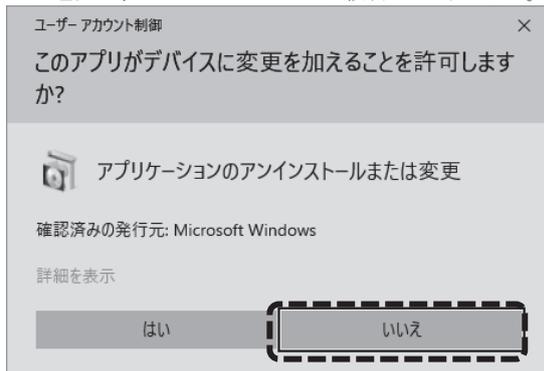
1. スタートメニューのアプリの一覧の中から「CosmosDataLogger」のアプリを見つけます。
2. アプリを右クリックすると、メニューが表示され、その中から「アンインストール」を選択してください。



3. 「プログラムと機能」が表示されるので、「COSMOS DATA LOGGER」を右クリックし、「アンインストール」をクリックしてください。



4. COSMOS DATA LOGGER アプリのアンインストールが開始されます。
何らかのセキュリティに関する警告が表示された場合は、『実行』または『続行』または『許可』または『はい』を選択し、アンインストールを続行してください。



11.USB ドライバのアンインストール



ここでは標準的な設定のWindows10の画面表示について説明します。
他のバージョンのWindowsでは表示が異なる場合があります。



USB ドライバをアンインストールするにはXP-302M 本体を必ずUSB ケーブルでパソコンに接続してください。

1. スタートボタンを右クリックし、「デバイスマネージャー」をクリックしてください。



2. 「ポート(COMとLPT)」の「USB Serial Port (COMx)」を右クリックし、「デバイスのアンインストール」をクリックしてください。



3. 「デバイスのアンインストール」の確認が表示されます。「このデバイスのドライバーソフトウェアを削除します。」にチェックし、「アンインストール」をクリックしてください。



MEMO

*. この取扱説明書を紛失した場合

万一この取扱説明書を紛失してしまった場合には、インストールCDの中にPDF形式のファイル「XP302MLT(03).pdf」があります。
(PDFファイルについては、Adobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社) のAcrobat Readerをご覧ください。*Acrobat Readerのバージョンによっては、ファイルが正しく表示されないことがあります。正しく表示されない場合は最新のAcrobat Readerをインストールしてください。)

△注意 この取説ファイルはお客様のバックアップ用途としてのみ印刷・複製して使用できますが、それ以外の複製や第三者への配布・公開はできません。

また、弊社の最寄りの支社または営業所までご連絡くだされば、有償にて送付いたします。

代理店・販売店



新コスモス電機株式会社

〒532-0036 大阪市淀川区三津屋中 2-5-4

<https://www.new-cosmos.co.jp/>